

平成21年 春号

# PS通信

発行

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会

春日井市環境部環境政策課内 0568-85-6216

<http://ps-kaigi.net>

四季のたより

## チョウの個体数変動を 記録に残しておきたい

会長 高橋 匡司

こんにちは。日頃は、環境まちづくりにご協力  
頂きましてありがとうございます。

菜の花畑に舞うモンシロチョウ・パンジー類を  
食べて増えたヒョウ柄のツマグロヒョウモン・庭  
先のカタバミに産卵する一円玉サイズのヤマトシ  
ジミ・落葉後目立つヤママユの繭殻など普通に見  
られた生きものが、この一年ひとときわ減っている  
ではありませんか。

一方、万博跡地公園近くで、あさぎ色の美しい  
アサギマダラの大群に巡り逢いました。海を越え  
て沖縄や台湾までたどり着いてほしいなと暫し吸  
蜜しているチョウに見入りました。

この事象は、地球温暖化の影響なのか、自然変  
動範囲内なのか糸口が掴めない苛立ちとともに、  
身近なところでの自然の移ろいを少しでも記録に  
残しておきたいなと思いました。

編集にらいおん丸様のご協力を頂くことになり  
ましたことをご報告し、春号の発行にあたっての  
ご挨拶とさせていただきます。



アサギマダラ



活動している

プロジェクトグループの紹介

## 水辺学習をすすめよう

水辺YYネット グループリーダー 木下 まるみ

これからの自然環境学習の中に、水辺学習を取  
り入れていってもらうためにどんなことをしてい  
けばいいのでしょうか。「よい子はかわであそば  
ない」と、今までは子どもたちを川から遠ざけて  
きたのです。川が近くにない学校ではなかなか川  
探検など計画できないでしょう。水辺YYネット  
ではそんな学校に川探検をしていただけるように  
企画、進行のお手伝いをしていきたいと思ってい  
ます。



又、子どもたちに川遊びのおもしろさや川を大  
切にしていくことを知ってもらう『水辺学習講座』  
もありますので利用してください。



## 湿地の保全活動

みろくの森自然観察保全グループ グループリーダー 富田 雅巳

築水池北岸の湿地、われわれはこの湿地の変化を極力遅らせる目的で活動をおこなっております。自然による遷移はともかく、心無い人の行動が湿地にストレスを与えていることが気がかりです。踏み込みや持ち去り被害以外あまり知られていませんが、他地方の植物などが持ち込まれていることです。遺伝子のかく乱など、生態系に重大な影響を及ぼしかねない悪質な行為です。この夏、アフリカナガバノモウセンゴケ・シラタマホシクサの除去作業を行いました。12月から1月にかけてササ刈りや樹木の剪定作業を進めております。又、来シーズンに多くの花が咲くことを夢見



アフリカナガバノモウ



湿地手入れ作業風景



## 小学校へ環境学習の出前講座

環境学習ネットワークグループ

グループリーダー 平野 良三



高座小学校での出前講座風景

昨年の11月には上条小学校5年生、12月には高座小学校4年生を対象として、それぞれの小学校の要請で環境出前講座をPS会議と連携して行ないました。今まで環境学習ネットワークグループとしてはそれらの小学校には山、川、里などの野外での環境学習のサポート活動が中心であり座学としては初めてでした。その方法もユニークで1学年を数クラスに分け、講師も各々のクラス別にしてその授業内容も講師任せで同時間に一斉に行なう等、の仕方で行ないました。授業後の学童と講師の感想としては、他の講師の話も聞きたい、講師はもう少し時間があれば等共に歓迎の様子でした



## 廻間町での里山保全活動

里山保存会 グループリーダー 井上 栄

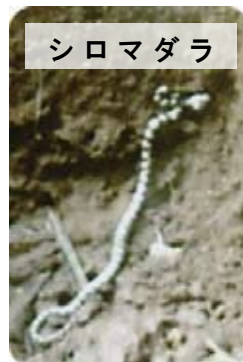
廻間町でのビオトープ作りに参加して5年になりました。

ビオトープのため池には、メダカやオタマジャクシ、トンボのヤゴ、カワニナなどの貝他多くの水生生物がすみつきました。

池のまわりでは、ヘビやイタチのような上位捕食者を多く見かける事ができます。食物連鎖の上位を占める生物が増えたと言うことは、生態系全体が多様化し、環境構造が豊かになったことを示しています。今後も、里山環境の多様化をめざし保全活動を続けていきます。四季折りの里山の風情を、皆様も御経験下さい。お待ち致します。



マムシ



シロマダラ



## 落ち葉・生ごみの資源循環

資源循環かすがい市民の会

グループリーダー 広川 雄三



コンポスト

最近、新聞記事に「バイオマス」という文字が飛び込んできますが、なにも難しくはありません。落ち葉、生ごみ、剪定枝であったりが身近なものです。残念ながらクリーンセンター焼却炉で燃やされているのが現実です、これらは立派な再生可能な地球上の資源であり、これを有効に使う手は幾らでもあります、そんなところを視点にして、今年は落ち葉の堆肥化講座に60名の市民の方々に受講して頂きました。またダンボール箱による「コンポスト」もゆっくりとした活動になっていますが、2008年エコライフフェア、かすがいまつりにも出展させて頂き、市民の反応は上々です。

## 平成20年度の活動

環境調査グループなずなの会

グループリーダー 梶田 美登里

地球では、色々な環境問題が起きています。その多くは人間の暮らしが原因です。なずなの会では、大気汚染、河川、酸性雨の調査を15年以上継続して行っております。平成20年度には、

大気汚染調査 9月25日(木)～26日(金)

屋外、34地点 室内18地点

河川調査 2月20日(水)

市内 11河川 17地点 水質 気温 水温

周りの環境(生き物、植物)ごみ拾い等

酸性雨調査 市内4地点 毎降雨時酸性雨(P.H)

酸性雨はP.H5.6以下の雨、春日井の値は?

以上の結果は6月の生活展で展示いたします。



河川調査

## 木材を使って活かす森づくり

みどりのまちづくりグループ グループリーダー 宮崎 了諦

みどりのまちづくりグループは東海豪雨で荒れてしまった東部丘陵地の里山であるみろくの森をコナラやアバマキといったドングリを拾い苗木を育て植え始めたのが会の活動の始まりです。

どんぐり植樹祭、シデコブシ保全、アオダモ植樹活動のほか、大谷川源流ホテルのピオトープづくり、川のクリーン作戦、庄内川上条河畔林、水辺のみどりの回廊活動を行っています。メンバーも66名になり2000人以上の活動になりました。

日々の活動が理解され、第8回中部の未来創造大賞優秀賞、間伐材利用全国コンクール入賞、全国林業改良普及協会会長賞を受賞いたしました。これからも地域の人達やご協力を得ながらみどり豊かなまちづくりを続けていきたいと思っております。



## 出前環境講座3年目の取り組み

きれいな空気を吸いたいグループ

グループリーダー 塚田 蒼生子

昨年までは4年生の環境学習入門のお手伝いをさせていただくケースばかりでしたが、今年初めて「5年生の少年自然の家での野外学習とリンクさせ、実験をできるだけ多くして欲しい」という嬉しい依頼がありました。自然の家に出かける前に、①春日井市の大気汚染の現状 ②空気の汚れ関連クイズ ③デモ実験「有毒ガス：二酸化窒素はこんな気体です」などで予備知識を持ってもらいました。そして、各自1個ずつ二酸化窒素捕集管を持ち、手分けして、市街地と自然の家に吊りした捕集管中の濃度を測定しました。その結果は、見事に空気の汚れの原因を教えてくださいました。



## お問い合わせ！！

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

事務局：春日井市環境部環境政策課内

〒486-8686

春日井市鳥居松町5丁目44番地

電話：0568-85-6216

FAX：0568-84-8731

Eメール：kansei@city.kasugai.lg.jp

ホームページ：http://www.ps-kaigi.net



## 会員募集中！！

「かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議」の活動に参加してみませんか？

当会議は市民、事業者、市の三者協働による環境まちづくりを推進する組織として、平成14年12月に設立し、さまざまな環境に関する活動を実施してきました。現在活動しているプロジェクトグループは9つ。今回ご紹介した「みどりのまちづくりグループ」「里山保存会」「環境調査グループなずなの会」「みろくの森自然観察保全グループ」「きれいな空気を吸いたいグループ」「環境学習ネットワークグループ」「資源循環かすがい市民の会」「水辺YYネット」と、「市民耕作学習会」です。他にも講演会や学習会などの自主イベントの企画運営をする「学習グループ」と当会議の活動をPRするための広報活動をする「広報グループ」があります。全員が「春日井の環境まちづくりを進めたい。未来の子どもたちにより良い環境を残したい」という思いでそれぞれ活動しています。

当会議では現在会員を募集中です。プロジェクト活動への参加、市主催のイベント参加や自主イベントの開催など、いろいろな活動を行うことができます。ぜひ一緒に環境まちづくりを進めましょう。